

サッカー部関係資料を大学文書館で受贈

4月5日(月)・8日(木)・13日(火)・20日(火), 岸豊氏(サッカー部OB会会長)より, サッカー部の沿革に関する資料79点を大学文書館にご寄贈いただきました。

受贈した資料は, (1)『部報』67点(原本60点, 複製版7点), (2)練習日誌2点, (3)OB会「北大サッカークラブ」の写真集5点, (4)『北海道大学サッカー部80年史』や追悼文集などの刊行物5点です。

(1)『部報』は, 旧制大学期の発行が6点(1932, 1934~1937, 1940年), 新制大学期の発行が61点(1952, 1958, 1959, 1962~2020年)揃っています。毎年度の戦績や活動報告のほか, 随想や回想が綴られています。

サッカー部は, 1922年に発足した「アルゴン蹴球倶楽部」を前身とし, 1923(大正12)年に「北海道帝国大学文武会蹴球部」として認可されました。1932(昭和7)年発行の『部報』には, 創部当時, 丸太4本と農場で借りた鋤鍬を試合会場の中島公園まで運び, ゴールを設置した様子が記されています。

1962~1964年発行の『部報』からは, 教養部などの新校舎建設のためにグラウンドが大学構内を転々とし, 地面の状態の悪い中で工夫しながら練習や試合にあたった様子がうかがえます。

(2)練習日誌は1959年の練習メニュー, 出欠表, 合宿スケジュール, 試合内容を筆記したノート2冊です。

(3)OB会「北大サッカークラブ」の写真集(2014~2017, 2019年)には, 各大学OBとの試合, 本学グラウンドの整備など, 各年度の活動を記録した写真が収録されています。OB会は, グラウンドの改修工事への協力など, その整備に長年尽力されており, 将来的にはグラウンドを人工芝生に更新することも検討されています。

2023(令和5)年, サッカー部は創部100周年を迎えます。今後, ご寄贈いただいた資料は, 部の歩みを示す歴史資料として大学文書館において大切に保管し, 展示や閲覧利用などを通じて広く紹介して参ります。

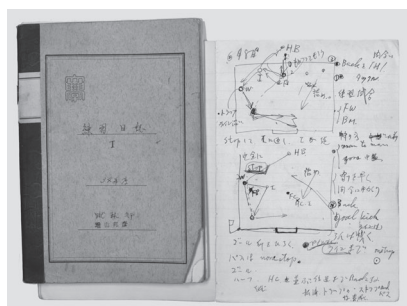
(大学文書館)



旧制大学期の部報 (1934, 1935年)



新制大学期の部報 (1964~1966年)



練習日誌 (1959年)



OB会の写真集 (2014~2017, 2019年)